

第 3 章 具体的な施策展開

1 | 基本理念

「スポーツが熱いまち 江東区」 だれもがスポーツを楽しみ、 スポーツの力でみんなの元気があふれるまち

本区ではこれまで「スポーツが熱いまち 江東区」を基本理念に掲げ、区民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に「する」、「みる」、「ささえる」スポーツに親しむことのできる環境整備に取り組んできました。

本計画においても、前計画の理念を継承しつつ、多様化するスポーツとの関わり方や、スポーツを通じた地域の活性化などの視点を盛り込んだ、「だれもがスポーツを楽しみ、スポーツの力でみんなの元気があふれるまち」を新たなキャッチフレーズとして決めました。

区民がそれぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動を楽しむことで、誰もが心身ともに豊かになれる、ウェルビーイング※な地域社会の実現を目指します。

スポーツを通じた

ウェルビーイングな地域社会の実現



※ ウェルビーイング：心身ともに健康で、社会的にも満たされた状態にあること

2 | 基本目標

区をとりまく課題を解決するとともに、基本理念の実現に向け、4つの基本目標を掲げ、本区のスポーツ推進を図ります。

基本目標

1

スポーツをする機会の創出

こどもから高齢者まで、多様なライフステージ・ライフスタイルに応じ、気軽にスポーツを楽しむことのできる機会を充実していきます。

また、障害のある方が気軽にスポーツに取り組める機会や、障害のある方とない方がスポーツを通じて交流できる機会を提供するとともに、地域社会全体におけるパラスポーツへの理解を促進していきます。

基本目標

2

スポーツをする環境の充実

区民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の安定的な運営に取り組むとともに、生活に身近な場所でスポーツができる環境を充実していきます。

また、本区の特色である、水辺環境を生かしたスポーツを推進するとともに、東京2020大会のレガシー施設等との連携に取り組んでいきます。

基本目標

3

スポーツをみる楽しさの発信

オリンピック・パラリンピックなどの国際大会等の機会をとらえて、スポーツに対する関心を喚起するとともに、スポーツをみる楽しさを広めていきます。

また、トップスポーツチーム連携団体との協働・連携を強化し、魅力的なスポーツ観戦の機会を提供していきます。

基本目標

4

スポーツをささえる人材・団体の活躍促進

スポーツ推進委員やスポーツボランティア、スポーツ協会、地域スポーツクラブなど、地域でスポーツを「ささえる」人材・団体の活躍を推進していきます。

3 | 数値目標

本計画では、今後展開するスポーツ施策の成果や進捗状況を客観的に評価するため、基本目標ごとに数値目標を以下のとおり設定します。

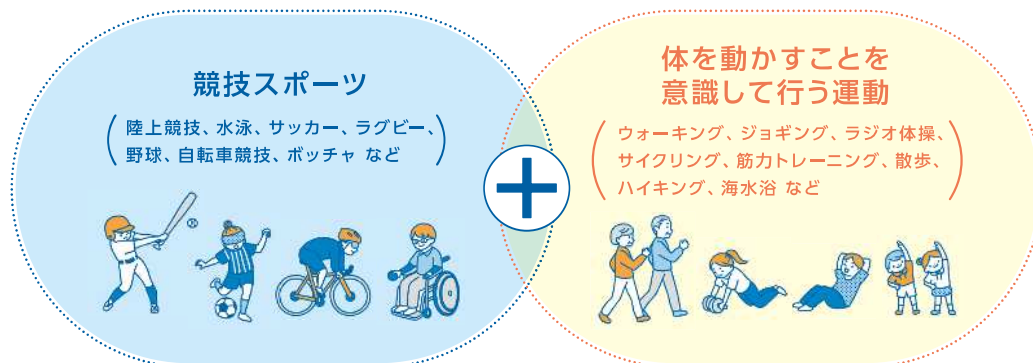
数値目標	現状値	目標値（令和11年度）
 基本目標1 スポーツをする機会の創出		
週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合 ※1	52%	70%
週1回以上スポーツ・運動を行う障害者の割合 ※2	48.8%	50%
 基本目標2 スポーツをする環境の充実		
区立スポーツ施設の利用者数 ※3	1,767,000人	2,550,000人
区立スポーツ施設の利用者満足度 ※4	90.9%	95%
 基本目標3 スポーツをみる楽しさの発信		
トップスポーツチーム区民招待観戦者数 ※3	14,026人	15,000人
 基本目標4 スポーツをささえる人材・団体の活躍促進		
スポーツボランティア登録者数 ※5	115人	260人
初級パラスポーツ指導員養成講習会年間受講者数 ※3	14人	30人

- ※1 出典：区民アンケート（令和6年度） 住民基本台帳より無作為抽出した区民を対象に調査を実施
 ※2 出典：障害のある方のアンケート（令和6年度） 挙手制により調査を実施。区内障害者通所施設等で周知
 ※3 出典：業務取得（令和5年度実績）
 ※4 出典：利用者アンケート（令和5年度）
 ※5 出典：業務取得（令和6年度実績）

4 | 本計画におけるスポーツの定義

スポーツ（sport）はラテン語の「deportare（気晴らしをする、楽しむ、遊ぶ）」が語源と言われています。我が国では、戦後、こどもの体力・運動能力向上という観点からスポーツが活用されるようになり、近年はスポーツの楽しさや喜びを味わってもらうことの重要性も認識されてきたところです。

本計画では、前計画と同様に、「スポーツ」とは、野球やサッカーなど一定のルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツや運動だけでなく、散歩や体操などの体を動かすことを意識して行う運動も「スポーツ」として広く捉えることとします。



5 | 施策の体系



基本理念	基本目標	施策展開
スポーツが熱いまち江東区	01 スポーツをする 機会の創出 	(1) こどものスポーツ推進 (2) 高齢者のスポーツ推進 (3) パラスポーツの推進 (4) 多様なスタイルに応じたスポーツ機会の提供
	02 スポーツをする 環境の充実 	(1) 気軽にスポーツを楽しめる環境の充実 (2) 水辺に親しむスポーツの振興 (3) 東京2020 大会レガシーの継承
	03 スポーツをみる 楽しさの発信 	(1) スポーツ観戦の魅力発信 (2) トップスポーツチームとの連携強化 (3) 多様な媒体を活用した情報発信・PR
	04 スポーツをささえる 人材・団体の活躍促進 	(1) スポーツをささえる人材の育成・活躍推進 (2) 地域スポーツ団体等との連携拡充 (3) 競技力向上の支援



主な取組

- ファミリースポーツチャレンジ
- ジュニアスケートボード大会
- こどもスポーツデー
- 小学生スーパードッジボール大会
- 少年運動広場の提供
- 児童館・こどもプラザの運営

- 福祉会館・ふれあいセンター・グランチャ東雲の運営
- KOTO 活き粋体操
- シニア体操教室
- 転ばぬ先のトレーニング
- 全国健康福祉祭(ねんりんピック)

- ボッチャ交流大会
- パラスポーツ体験会
- 障害者に配慮した施設運営
- みんなでスポーツフェスタこうとう
- ユニバーサルカヌー体験会
- 知的障害者のスポーツ活動の支援

- 江東シーサイドマラソン大会
- スポーツ教室
- 江東スポーツデー
- 親子で楽しめるスポーツ教室
- こうとう健康チャレンジ

- 区立スポーツ施設の管理・運営
- 区立スポーツ施設の改修
- 学校施設の開放
- 区立中学校体育館の夜間開放
- 区立公園におけるスポーツ広場の提供

- こどもカヌー大会
- インクルーシブ・セーリング体験会 若洲
- 区立中学校カヌー部
- 区立小中学校セーリング部
- 竪川河川敷公園カヌー・カヤック場の運営
- 大学と連携したカヌー教室の実施

- こどもカヌー大会【再掲】
- 区民スポーツ大会(水泳)
- KOTO☆ボッチャフレンドリーマッチ
- 夢の島スケートボードパークの運営
- パラリンピック競技体験会

- 東京2025 デフリンピックの周知・啓発、障害理解の促進
- 国際大会等の周知・啓発
- 区内スポーツ施設を使用したスポーツイベントの周知

- トップスポーツチームの試合観戦招待
- トップスポーツチームによる地域貢献
- トップスポーツチームとの多分野での連携

- こうとう区報・区HP・区公式SNSによる情報発信
- フィットこうとうによる情報発信
- 各スポーツ施設の公式SNSを活用した情報提供の充実
- デジタルサイネージによる情報発信
- シティプロモーションの推進

- パラスポーツ指導員養成講習会
- スポーツボランティア制度の充実
- 指導者養成講習会
- 部活動指導員の活用

- スポーツ推進委員会との連携
- スポーツ協会との連携
- 地域スポーツクラブとの連携
- KOTO スポーツフィールド
- 区立中学校部活動の地域移行

- 区民スポーツ大会の開催
- 東京都スポーツ大会への選手派遣
- ジュニアカヌー選手の育成
- パラリンピックカヌー選手の輩出
- 功労者の表彰
- トップアスリートによる指導

基本目標 1 スポーツをする機会の創出

新規：新たに取り組むもの

拡充：内容の充実を図る取組

重点：特に重点的に取り組むもの

施策展開（1）こどものスポーツ推進

こどもがスポーツを経験することは、こども自身の健康な身体と豊かな心を育むことにつながります。

こどもを対象とした様々なスポーツイベントを開催するとともに、こどもたちが安心して楽しく運動できる機会を提供し、体力・運動能力の向上に取り組んでいきます。

主な取組	内 容	担 当
ファミリースポーツチャレンジ	幼児～小・中学生とその保護者を対象に、競技体験やプロアスリートとの交流など、家族で楽しめる体験イベントを開催します。	スポーツ振興課
新規 ジュニアスケートボード大会	神奈川県相模原市と連携し、ジュニアスケートボード大会を開催します。	スポーツ振興課
こどもスポーツデー	区内在住の高校生以下を対象に、毎月第2・第4土曜日の午前中、各スポーツセンターの大・小体育室、プールを無料開放します。	スポーツ振興課 指定管理者
小学生スーパードッジボール大会	区立小学校の3～6年生を対象とした、スーパードッジボール大会を開催します。	指定管理者 スポーツ推進委員会
少年運動広場の提供	区内4か所にある少年運動広場（辰巳少年野球場、南砂少年野球場、亀戸運動場、千石運動場）を提供します。	スポーツ振興課
児童館・こどもプラザの運営	各児童館およびこどもプラザにおいて、スポーツ（体力増進）やレクリエーション活動等のプログラムを実施します。	こども家庭支援課 養育支援課

CLOSE UP



【ジュニアスケートボード大会の開催】

パリ 2024 オリンピック競技大会、スケートボードストリートの金メダリストである、堀米雄斗選手の出身地の江東区と、吉沢恋（よしざわここ）選手の出身地の神奈川県相模原市が連携し、ジュニアスケートボード大会を開催します。

第二の堀米選手、吉沢選手の誕生を期待し、スケートボードのさらなる普及につなげていきます。



▲スケートボードイベントの様子

施策展開（２）高齢者のスポーツ推進

高齢者におけるスポーツは、健康増進や生きがい・仲間づくりにつながるなど、重要な役割を果たします。

高齢者向けの各種スポーツ教室やイベントの実施等を通じて、気軽にスポーツに親しむことのできる機会の充実を図っていきます。

主な取組	内 容	担 当
福祉会館・ふれあいセンター・グランチャ東雲の運営	各福祉会館やふれあいセンター、グランチャ東雲において、健康体操等を実施することで、高齢者の健康増進を図ります。	長寿応援課
KOTO 活き粋体操	高齢者のストレッチ、筋力及びバランス機能の維持・向上ができる、江東区独自の介護予防体操を実施します。	地域ケア推進課
シニア体操教室	各スポーツセンターにおいて、ストレッチや全身を使ったリズム体操で体力維持や体の調整を行う体操教室を実施します。	スポーツ振興課 指定管理者
転ばぬ先のトレーニング	各スポーツセンターにおいて、転倒防止や寝たきり予防を目的としたエクササイズ教室を実施します。	スポーツ振興課 指定管理者
新 規 全国健康福祉祭（ねんりんピック）	令和 10 年度に東京都で開催予定の「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」について、都と連携し、大会に積極的に協力します。	スポーツ振興課

CLOSE UP



【高齢者向けeスポーツ教室の実施】

eスポーツは性別・世代を超えて楽しめるコンテンツで、福祉会館やふれあいセンターなどの身近な場所で気軽に体験できるよう、eスポーツ教室を実施しています。

eスポーツを通して、社会参加の促進を図るとともに、高齢者の健康増進や生きがいにつなげていきます。



▲福祉会館でのeスポーツ教室の様子

【全国健康福祉祭(ねんりんピック)】

全国健康福祉祭(ねんりんピック)とは、スポーツ交流大会をはじめ、文化交流大会、美術展など、多岐にわたる種目で構成された、高齢者の社会参加推進を目的とした健康と福祉の総合的な祭典です。

令和 10 年度には東京都での初開催が決定しました。

大会の成功に向け東京都と連携し、積極的に協力していきます。



▲シンボルマーク

施策展開（3）パラスポーツの推進

ボッチャをはじめとした各種パラスポーツ競技の体験などを通じて、パラスポーツに親しむ機会を拡充しながら障害に対する理解の醸成を図ります。

また、障害者に配慮した施設運営やスポーツ活動の支援に取り組むことで、障害者の運動機会の創出を図っていきます。

主な取組	内 容	担 当
ボッチャ交流大会	多様な区民の交流促進を目的とした、年齢や性別、障害の有無に関わらず参加できる、ボッチャ交流大会を開催します。	スポーツ振興課 指定管理者
新規 パラスポーツ 体験会	パラスポーツをより身近に感じてもらえるよう、地域のスポーツ団体と連携し、パラスポーツ体験会を年2回開催します。	スポーツ振興課
重点 障害者に配慮した 施設運営	障害者が気軽にスポーツを楽しめる環境を提供するため、障害者専用の練習時間や車いす対応のマシン等を設置します。	スポーツ振興課 指定管理者
みんなでスポーツ フェスタこうとう	パラ・デフスポーツ競技体験ブースおよびパラ・デフアスリートとの交流など、誰もが楽しめるスポーツイベントを開催します。	スポーツ振興課 指定管理者
ユニバーサル カヌー体験会	障害の有無に関わらず、気軽にカヌーに親しむことのできる機会を提供するため、越中島プールにてカヌー体験会を開催します。	スポーツ振興課 指定管理者
知的障害者の スポーツ活動の 支援	軽度知的障害者を対象としたエンジョイ・クラブの余暇活動の1つとして、バスケットボール等のスポーツ活動を支援します。	障害者施策課

CLOSE UP



【障害のある方も気軽にスポーツに取り組める環境づくり】

障害者が気軽にスポーツを楽しめる環境を提供するため、スポーツセンターでは車いす対応のトレーニングマシンの設置や、プールにおいて、特定の日に「障害者専用レーン」を設置しています。

また、夢の島競技場においても、障害者専用の練習日「パラスポーツ HOUR」を設定しています。

利用者のニーズ等を踏まえ、引き続き障害者が安心・安全に自分のペースでスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めていきます。



▲障害者専用レーン（東砂スポーツセンター）



▲パラスポーツ HOUR の様子

施策展開（４）多様なスタイルに応じたスポーツ機会の提供

競技志向の方からライト層までの幅広いニーズや、多様なライフスタイルに応じ、世代を問わず、区民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を創出していきます。

主な取組	内 容	担 当
重 点 江東シーサイド マラソン大会	夢の島競技場をスタート・フィニッシュとした、日本陸連公認の江東シーサイドマラソン大会を開催します。	スポーツ振興課
重 点 スポーツ教室	各スポーツセンターおよび屋外スポーツ施設において、多様なレベルに応じたスポーツ教室を実施します。	スポーツ振興課 指定管理者
江東スポーツデー	区内在住・在勤・在学者を対象に、毎月第２土曜日に各スポーツセンター（プールを除く）を無料開放します。	スポーツ振興課 指定管理者
親子で楽しめる スポーツ教室	各スポーツセンターおよび屋外スポーツ施設において、親子向けのプログラムや保護者向けのセミナー等を開催します。	スポーツ振興課 指定管理者
こうとう健康 チャレンジ	日々のウォーキングや健診受診、スポーツセンターの利用等をポイント化し、抽選で景品を付与するイベントを実施します。	健康推進課 指定管理者

CLOSE UP



【多様なスタイルに応じたスポーツ教室の実施】

各スポーツセンターおよび屋外スポーツ施設では、多様なライフスタイル・ライフステージに応じたスポーツ教室を展開しています。

例えば、仕事や子育てにより、スポーツに取り組むことのできる時間が限られている働き世代等のスポーツ活動への参加を促すため、土日や早朝の時間帯における「朝活スポーツ教室」や、自宅からでも気軽に参加できる「オンラインヨガ講座」など、様々な形でスポーツ教室を実施しています。

誰もが自分に合ったスタイルでスポーツに取り組める環境づくりを進めていきます。



▲スポーツ教室(朝活水泳)の様子



▲オンラインヨガ講座の様子

基本目標 2 スポーツをする環境の充実

施策展開（1）気軽にスポーツを楽しめる環境の充実

誰もがいつでも気軽にスポーツに取り組むことができるよう、スポーツ施設の安定的な運営を行うとともに、公園や学校施設など、より身近な場所でスポーツに親しむことのできる機会の充実を図っていきます。

主な取組	内 容	担 当
拡 充 区立スポーツ施設の管理・運営	区立スポーツ施設の運営を通じて、区民が気軽にスポーツを楽しめる環境の充実を図ります。	スポーツ振興課 指定管理者
区立スポーツ施設の改修	安全・安心に施設を利用できるよう、江東区長期計画に基づき、施設のバリアフリー化や老朽化改善のための改修を実施します。	スポーツ振興課
学校施設の開放	区民に身近なスポーツの場として、区立小・中学校の校庭・体育館、豊洲西小学校のプール・トレーニング室を地域へ開放します。	学務課
区立中学校体育館の夜間開放	個人でも身近に利用できる場として、毎週金曜日の夜間に区立中学校6校の体育館を開放します。	スポーツ振興課
拡 充 区立公園におけるスポーツ広場の提供	横十間川親水公園の水上アスレチック場や、豎川河川敷公園にあるカヌー・カヤック場など、スポーツに親しめる場を提供します。	施設保全課

CLOSE UP



【荒川・砂町庭球場のテニスコートを拡張！】

テニスコートはスポーツ施設の中でも特に利用率が高いことから、令和7年度には荒川・砂町庭球場のテニスコート2面の拡張を予定しています。

利用者ニーズを踏まえ、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境の整備に努めます。



▲荒川・砂町庭球場

【若洲公園がリニューアル！】

若洲公園は、公園全体を改修するとともに、多目的広場に都内最大の大型遊具を新設するなど、令和9年度のリニューアルを予定しています。

リニューアル後も引き続き、誰もが気軽にスポーツに親しめる場とします。



▲若洲公園(リニューアル後パース図)

施策展開（２）水辺に親しむスポーツの振興

河川や運河など、“水彩都市・江東”として豊かな水辺環境を生かし、カヌー・カヤックをはじめとした、様々な水辺に親しむスポーツを推進していきます。

また、東京 2020 大会の競技施設をレガシーとして活用し、水辺スポーツの普及振興に取り組んでいきます。

主な取組	内 容	担 当
重 点 こどもカヌー大会	東京 2020 大会の競技会場となった海の森水上競技場にて、小学４～６年生を対象としたカヌー大会を開催します。	スポーツ振興課
重 点 インクルーシブ・セーリング体験会 若洲	若洲ヨット訓練所で障害の有無に関わらずセーリングに挑戦できる、インクルーシブ・セーリング体験会を実施します。	スポーツ振興課
区立中学校 カヌー部	内部河川が多い区の地域特性を生かし、区立中学校カヌー部を拠点校方式により実施します。	教育支援課
区立小中学校 セーリング部	水辺に面した区の地域特性を生かし、区立小中学校セーリング部を拠点校方式により実施します。	教育支援課
豎川河川敷公園 カヌー・カヤック場の運営	気軽に水辺スポーツに親しめる場として、豎川河川敷公園のカヌー・カヤック場を運営します。	施設保全課
大学と連携した カヌー教室の実施	東京海洋大学と連携し、内部河川のカヌーツーリングや区の文化・歴史などを学ぶカヌー教室を開催します。	スポーツ振興課 指定管理者

CLOSE UP



【インクルーシブ・セーリング体験会 若洲】

本区では「一般社団法人パラセーリング東京」・「NPO 法人マリンプレイス東京」と共催で、インクルーシブ・セーリング体験会を、若洲ヨット訓練所にて実施しています。

障害のある方もない方も一緒に、同じスポーツを楽しむことで、互いを理解し尊重しあう、共生社会の実現につなげていきます。



▲インクルーシブ・セーリング体験会の様子

施策展開（3）東京 2020 大会レガシーの継承

東京 2020 大会後のレガシー継承の取組として、スポーツに対する関心や気運の高まりを一過性で終わらせないため、競技会場となった施設でのイベント実施や競技体験の機会を提供していきます。

主な取組	内 容	担 当
重 点 こどもカヌー大会 【再掲】	東京 2020 大会の競技会場となった海の森水上競技場にて、小学4～6年生を対象としたカヌー大会を開催します。	スポーツ振興課
区民スポーツ大会 （水泳）	東京 2020 大会の競技会場となった東京アクアティクスセンターにて、区民スポーツ大会（水泳）を開催します。	スポーツ振興課 指定管理者
KOTO☆ボッチャ フレンドリーマッチ	東京 2020 大会の競技会場となった有明アリーナにて、希望する区立小学校を対象としたボッチャ大会を開催します。	指導室
拡 充 夢の島スケートボード パークの運営	東京 2020 大会での堀米雄斗選手の活躍を受け整備した夢の島スケートボードパークにて、体験会やイベントを実施します。	スポーツ振興課 指定管理者
パラリンピック 競技体験会	東京 2020 大会を契機に高まったパラスポーツへの興味・関心を継続させるため、各スポーツセンターで競技体験会を実施します。	スポーツ振興課 指定管理者

CLOSE UP



【こどもカヌー大会】

区内の小学4～6年生の対象に、水辺スポーツに取り組むきっかけづくりとして、毎年9月に「こどもカヌー大会」を開催しています。

令和4年度からは、東京 2020 大会でカヌーの競技会場となった海の森水上競技場にて開催しています。

本大会を通じて、普段触れる機会の少ないスポーツを体験する貴重な場を提供するとともに、オリパラレガシーの継承を図ります。



▲こどもカヌー大会の様子

【夢の島スケートボードパークがリニューアル！】

東京 2020 大会より正式種目となったことや、堀米雄斗選手の金メダル獲得などによる競技人気の高まりを受け、令和4年 11 月にオープンしました。

令和7年度には、初級者エリアの拡張や、セクションの一部リニューアルを予定しています。



▲夢の島スケートボードパーク(中級エリア)

基本目標 3 スポーツをみる楽しさの発信

施策展開（１）スポーツ観戦の魅力発信

スポーツをみることは、極限を追求するアスリートの姿に感動し、スポーツへの関心度を向上させるだけでなく、ストレス発散や、観戦者同士の一体感・連帯感の醸成にもつながります。

大規模な国際大会の周知・啓発や区内施設を使用したスポーツイベントへの観戦招待を行うことで、スポーツ観戦の機会を提供していきます。

主な取組	内 容	担 当
新 規 東京 2025 デフリンピックの周知・啓発、障害理解の促進	初めて日本で開催される「東京 2025 デフリンピック」を契機に、デフリンピックの周知啓発及び障害への理解促進を図ります。	スポーツ振興課 障害者施策課
国際大会等の周知・啓発	国際大会（オリパラ/世界陸上/アジア大会）等の情報を積極的に周知・啓発し、スポーツ観戦への区民の関心喚起を図ります。	スポーツ振興課
区内スポーツ施設を使用したスポーツイベントの周知	区内スポーツ施設を使用したスポーツイベントへ区民観戦招待を行うなど、スポーツ観戦の魅力発信に取り組みます。	スポーツ振興課

CLOSE UP



【2025 年、東京にデフリンピックがやってくる！】

令和7年 11 月、日本で初めてデフリンピックが開催されます。

また、今回大会は第1回大会よりちょうど 100 周年となる、記念すべき大会となっています。

江東区においては、3つの競技（ゴルフ・水泳・テニス）が開催される予定であり、本大会を契機として、区民のデフスポーツの認知度および興味関心の向上を図るとともに、障害への理解促進を図ります。



▲東京 2025 デフリンピック
大会エンブレム

■デフリンピック観戦ツアーを実施

区内の会場で競技が開催されることは、スポーツの素晴らしさを直接肌で感じてもらえる絶好の機会になります。この機会を逃さず、アスリートの活躍を間近で観戦し、感動を体験できる、「デフリンピック観戦ツアー」を実施します。

また、観戦ツアー参加者に対し、事前にデフリンピックに関する講習会を実施することで、デフスポーツの魅力や価値を伝えるとともに、聴覚障害をはじめとした、障害への理解・認識を深めます。

施策展開（２）トップスポーツチームとの連携強化

スポーツの裾野を広げ、スポーツ人口の拡大や観戦文化の定着を図るために、区民がトップスポーツを見ることを積極的に推進するとともに、まちの魅力向上や活性化といった地域づくりにつなげていきます。

主な取組	内 容	担 当
拡 充 トップスポーツチームの試合観戦招待	トップスポーツチームの公式試合への区民招待を実施することで、区民がトップレベルのスポーツに触れる機会を提供します。	スポーツ振興課
拡 充 トップスポーツチームによる地域貢献	区イベントへの協力や区立小・中学校への出前講座等を通じ、区民との交流を図ることで、スポーツの魅力を実感する機会を提供します。	スポーツ振興課 ほか
拡 充 トップスポーツチームとの多分野での連携	トップスポーツチームの持つ PR 力や資源を活かし、スポーツ振興だけでなく、各種施策の推進につなげます。	スポーツ振興課 ほか

CLOSE UP



【トップスポーツチームとの連携協定】

区内に本拠地を持つトップスポーツチームと、地域社会の発展を目的とした相互連携・支援協力に関する協定を締結しています。現在は以下の4つのチームと協定を締結しており、各チームでは江東区が実施する各種イベントや事業への協力、ホームゲームへの区民招待などを実施しています。

トップスポーツチームとの連携を通じて、区民スポーツの普及振興と地域の活性化につなげていきます。

■トップスポーツチーム



▲清水建設江東ブルーシャークス
(ラグビー)



▲東京ユナイテッド
バスケットボールクラブ
(バスケットボール)



▲アルバルク東京
(バスケットボール)



▲江東フェニックス
(3×3)

■多分野での連携の取り組み(一例)

- ・環境啓発(環境問題への理解促進、ごみ減量など)
- ・健康増進啓発(乳がん啓発活動)
- ・児童虐待防止啓発
- ・防災出前講座
- ・シティプロモーション
- ・ホームゲーム等での募金活動



▲乳がん啓発活動(ピンクリボン運動)

施策展開（３）多様な媒体を活用した情報発信・PR

多くの区民がスポーツに関心を持ち、「する」「みる」「ささえる」活動に主体的に参加できるよう、区報や区公式 SNS などの多様な媒体・手段を用いてスポーツに関する情報を提供していきます。

主な取組	内 容	担 当
こうとう区報・ 区 HP・区公式 SNS による情報発信	「こうとう区報」や区公式 HP・SNS を活用し、各種スポーツイベント等のスポーツ・運動に関する情報発信を積極的に実施します。	スポーツ振興課 広報広聴課
フィットこうとう による情報発信	「フィットこうとう」を活用し、スポーツや健康づくりに関する情報発信を積極的に実施します。	スポーツ振興課 指定管理者
重 点 各スポーツ施設の 公式 SNS を活用した 情報提供の充実	公式ホームページのほか、X（旧 Twitter）、Instagram 等の各施設公式 SNS を活用し、スポーツに関する情報提供の充実を図ります。	スポーツ振興課 指定管理者
デジタルサイネージ による情報発信	各スポーツ施設に設置しているデジタルサイネージにおいて、各種スポーツイベントの情報発信を積極的に実施します。	スポーツ振興課 指定管理者
シティプロモーション の推進	区のスポーツの特色や魅力をふるさと納税の返礼品等に活用することで、シティプロモーションを推進します。	広報広聴課

CLOSE UP



【各スポーツ施設の公式 SNS を活用した情報提供の充実】

現在、区では、各スポーツ施設の公式 SNS を活用し、スポーツに関する様々な情報発信を行っています。

区民に届く効果的な情報発信に引き続き取り組みます。

■障害者向け LINE アカウント(「KOTO 健スポ パラスポーツ」)

必要な情報を得にくい障害者に向けて、年代を問わず利用率の高い LINE アカウントを活用し、スポーツセンターで実施している様々なイベント情報を配信しています。

■夢の島スケートボードパーク公式 Instagram

スケートボードパークの利用者の多くは若い世代であることから、若い世代の利用率が高い Instagram を使って、利用者へ情報発信を行うだけでなく、スケートボードの魅力を広範囲に発信するなど、積極的に活用しています。



▲LINE での配信画面
(KOTO 健スポ パラスポーツ)

基本目標4 スポーツをささえる人材・団体の活躍促進

施策展開（1）スポーツをささえる人材の育成・活躍推進

誰もが、身近な地域でいつでもスポーツができる環境をつくるためには、スポーツ施策を地域で展開していく人や指導者など、スポーツを支える人材が重要な役割を担っています。

スポーツの様々な場面を支える人材を育成し、受け皿となる組織の体制強化に取り組んでいきます。

主な取組	内 容	担 当
パラスポーツ指導員養成講習会	パラスポーツ指導員資格取得を計画的に進めるため、各スポーツセンターにて講習会を実施します。	スポーツ振興課 指定管理者
重 点 スポーツボランティア制度の充実	区独自のボランティアの研修・登録を行うとともに、各種スポーツイベントにおいて、ボランティアの活躍機会を提供します。	スポーツ振興課 指定管理者
指導者養成講習会	各スポーツセンターで、ボッチャ指導員や水上安全法救助員の講習会を行う等、指導者に必要な知識・技術の習得を図ります。	スポーツ振興課 指定管理者
部活動指導員の活用	生徒が専門的な指導を受けられるよう、区立中学校に部活動指導員を配置します。	教育支援課

CLOSE UP



【スポーツボランティア制度】

区では、各スポーツセンターにおいて、スポーツボランティアを養成する、ボランティア研修会を実施しています。

修了すると、区独自のスポーツボランティアへの登録が可能となり、区や指定管理者が主催の各種スポーツイベントにおいて、ボランティアとして活動することができます。

現在は約120名の登録があり、様々なイベントで活躍しています。

今後も東京2020大会のレガシーを継承すべく、ボランティア活躍の場を提供し、スポーツを支える人材の育成及び活躍を推進していきます。

■スポーツボランティアの活動実績

- ・こどもカヌー大会 ・ファミリースポーツチャレンジ
- ・深川っ子運動会 ・小学生スーパードッジボール大会 等



▲こどもカヌー大会での活動の様子

施策展開（２）地域スポーツ団体等との連携拡充

区全体のスポーツ推進を図るためには、地域で活動する団体との連携が欠かせません。スポーツ推進委員会やスポーツ協会をはじめ、地域スポーツクラブ等との連携を強化・拡充していきます。

主な取組	内 容	担 当
重 点 スポーツ推進委員会 との連携	スポーツ推進委員会と協力してイベントを実施するとともに、地域スポーツコーディネーターとしての円滑な活動を支援します。	スポーツ振興課 スポーツ推進委員会
スポーツ協会との 連携	スポーツ協会および各競技団体と連携し、地域の主体的なスポーツ活動を促進します。	スポーツ振興課 指定管理者
重 点 地域スポーツクラブ との連携	区内で活動する地域スポーツクラブ団体と連携し、多世代が多様なスポーツに触れ、交流できる機会を提供します。	スポーツ振興課
KOTO スポーツ フィールド	江東区民まつり中央まつりにおいて、指定管理者やスポーツ推進委員会、トップスポーツチームと連携し、イベントを開催します。	スポーツ振興課 指定管理者 スポーツ推進委員会
拡 充 区立中学校部活動 の地域移行	地域のスポーツ団体や指導者等と教育委員会・学校が連携・協働し、休日の部活動を段階的に地域へ移行します。	教育支援課

CLOSE UP



【地域スポーツクラブとの連携】

地域スポーツクラブとは、学校や公共スポーツ施設などの身近な場所において、地域住民が主体となって運営するスポーツクラブのことです。江東区には現在5つのスポーツクラブがあります。現在、区と連携し「ニュースポーツ体験会」を実施しており、今後もさらなる連携強化に取り組めます。



▲東陽・木場
地域スポーツクラブ



▲NPO法人 ななすぼ



▲海の森総合型
地域スポーツクラブ



▲一般社団法人
JOTO WARRIORS



▲すぽてらす豊洲

【区立中学校部活動の地域移行】

国では、こどもたちが継続的にスポーツに親しむことのできる環境の構築や教職員の負担軽減等を図るため、令和5年度～7年度を「改革推進期間」とし、部活動の地域移行を進めています。

本区においても、7年度中に8年度～10年度までの3か年を計画期間とする推進計画を策定し、区立中学校における休日部活動の地域移行に取り組めます。

施策展開（3）競技力向上の支援

競技としてのスポーツを振興するため、区民スポーツ大会を開催するとともに、選手の育成や大会への出場等を支援します。

また、スポーツ振興に貢献した区民の表彰や、トップアスリートによる指導を行い、競技力の向上を図っていきます。

主な取組	内 容	担 当
区民スポーツ大会の開催	区民スポーツの振興を目的とした、区民スポーツ大会を開催することで、競技力の向上と区民の健康な体力づくりを促進します。	スポーツ振興課 指定管理者
東京都スポーツ大会への選手派遣	東京都スポーツ大会（夏季・冬季・春季）へ江東区代表選手を派遣します。	スポーツ振興課 指定管理者
ジュニアカヌー選手の育成	区立中学校カヌー一部卒業後、国民スポーツ大会・インターハイを目指す生徒に指導委託を実施し、技術力・競技力の向上を図ります。	スポーツ振興課
重点 パラリンピックカヌー選手の輩出	江東区カヌー協会等と連携し、専門コーチによる指導を行うことで、江東区出身のパラリンピックカヌー選手の輩出を目指します。	スポーツ振興課
功労者の表彰	スポーツに関する活動を通じ、区のスポーツ振興及び発展に貢献した方を功労者として表彰します。	スポーツ振興課 指定管理者
重点 トップアスリートによる指導	スポーツクリニックやオリンピックによる競技教室等、トップアスリートから直接指導を受けることで、競技力の向上を図ります。	スポーツ振興課 指定管理者

CLOSE UP



【瀬立モニカ選手に続け！パラカヌー選手の輩出】

瀬立モニカ選手のように、パラリンピックで活躍できる江東区出身選手の輩出に向け、才能ある選手の育成に取り組んでいます。今後も選手を身近に感じ、もっと応援したくなるような、ゆかりの選手輩出に取り組めます。



▲瀬立モニカ選手

【トップアスリートによる指導】

各スポーツ施設での「スポーツクリニック」や「競技教室」では、国内外で活躍するトップアスリートより直接指導を受けることができる貴重な機会を提供することで、個人のスキルアップやモチベーションの向上につなげます。



▲競技教室の様子